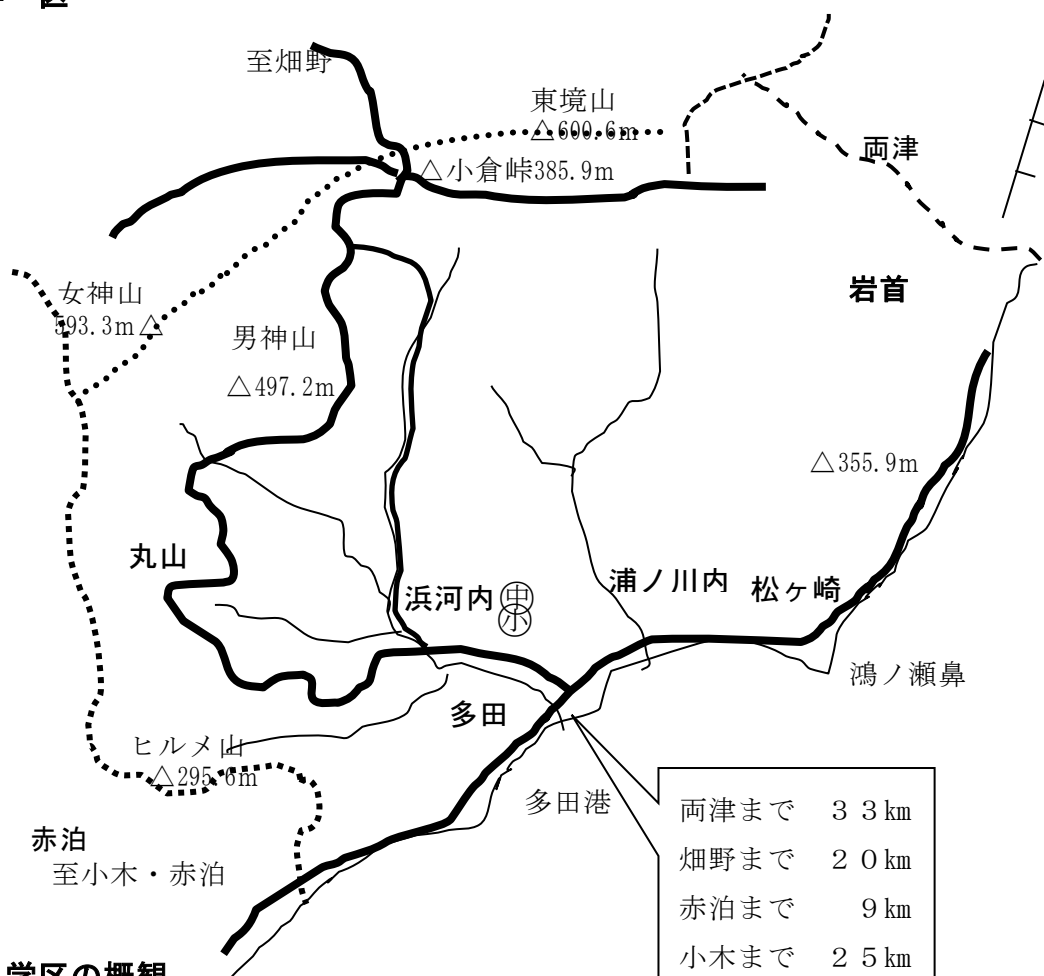


1 学 区



○ 学区の概観

小佐渡山脈の南側ほぼ中央に位置し、女神山・男神山を背に三方は山に囲まれ、一方は、はるかに弥彦山・角田山を望む海に面した半円形に広がる傾斜地である。中央を、小倉峠を越えて佐渡市の中心部と結ぶ主要道路の県道多田皆川金井線が走り、海岸に沿って北東に向かうと両津に、南西に向かうと赤泊に至る主要地方佐渡一周線が通っている。バスの運行回数も少ない。

歴史的には、松ヶ崎は、大宝令（701年）で30里ごとに駅を置くことが定められ松崎駅が国津（正規の港）として栄え、中世・日蓮の着船の地として知られるように、越後・越前地方との海上交通の要所として繁栄したが、小木・両津港の開港にともない、衰えて、昔日の面影を見ることはできない。

本校の学区は、丸山・浜河内・多田・浦ノ川内・松ヶ崎・岩首の6地区からなる。かつては農業を主に沿岸漁業で生計を立てていたが、今は兼業が多い。

近年、松ヶ崎地区から採取される海洋深層水が脚光を浴びている。また、平成24年12月、小倉峠に「女神山トンネル」、平成26年7月に「松ヶ崎大橋」が開通し、島内各地への交通の便が向上した。

○ 地域住民

地域住民は、温和質朴で、近隣相助の美風をもち、教育に対する関心は高い。地域の過疎化や高齢化が進む中であって、保護者、地域住民の学校教育に対する期待は大きく、教育活動への協力を惜しまない。

公民館活動は、かつて全国にその名を知られ、今日も学校と連携した取組に意欲的である。